

4年生の算数では、こんな力をつけよう！ 伸ばそう！

教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身につけるようにする。
- (2)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う
- (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

学年の目標 ～つきたい力～

- (1) 小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解するとともに、整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにします。
- (2) 数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養います。
- (3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養います。

授業内容

【1学期】

- ・大きな数・わり算の筆算・折れ線グラフ・角・2けたの数のわり算

【2学期】

- ・がい数・垂直、平行と四角形・式と計算・面積・整理のしかた
- ・小数のしくみとたし算、ひき算・変わり方・くらべ方

【3学期】

- ・小数と整数のかけ算、わり算・立体・分数の大きさとたし算、ひき算・そろばん

評価の観点 ～伸ばしたい力～

知識・技能

- ・小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解している。
 - ・整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。
- (テストやノート等の記述など)

思考・判断・表現

数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを身につけている。

(テストやノート等の記述、活動の様子など)

主体的に学習に取り組む態度

数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

(活動の様子や言動、発表や記述など)

4年生の国語では、こんな力をつけよう！ 伸ばそう！

教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学年の目標 ～つきたい力～

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにします。
- (2) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにします。
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。

授業内容

【1学期】

- ・場面と場面をつなげて読み、考えたことを話そう
- ・筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう
- ・場面の様子をくらべて読み、感想を書こう

【2学期】

- ・気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう
- ・中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう
- ・登場人物の変化を中心に読み、物語をしょうかいしよう

【3学期】

- ・きょうみをもったことを中心に、しょうかいしよう
- ・読んで感じたことをまとめ、伝え合おう

評価の観点 ～伸ばしたい力～

知識・技能

日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。(活動の様子や言動、テストやノート、作文等の記述など)

思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめている。(活動の様子や言動、テストやノート、作文等の記述など)

主体的に学習に取り組む態度

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさに気付こうとしているとともに、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。(活動の様子や言動、発表や記述など)